

2022年度
九州大学大学院総合理工学府
修士課程

学 生 募 集 要 項

2022年4月入学者 推薦入学（高等専門学校）

- この募集要項は必ず「希望研究室等調査票記入に関する参考資料」とセットで取り扱ってください。（総合理工学府ホームページに掲載されています。）
- 出願書類は本募集要項の後部に関係様式を用意していますので、印刷して使用してください。なお、様式によっては両面印刷を必要とするものがあります。
- 新型コロナウイルス感染症に関する状況に応じて、本年度の入学試験に限りやむを得ず、選抜方法等をオンライン（web）方式などに変更する可能性があります。選抜方法等に関する最新情報は本学のホームページ上で随時発信しますので、出願の際には必ず最新の情報を確認してください。
- 本年度の入学試験がオンライン試験となる場合には、事前に追加の資料提出を求められることがあります。

九州大学大学院総合理工学府の目標と特色

九州大学大学院総合理工学府では、「未来を見据えた物質・エネルギー・環境を融合した学問体系の構築とそれを身につけた人材の育成」を教育研究の目標としています。

急速な科学・技術の発展は豊かな物質文明社会をもたらしましたが、一方で、我々に環境汚染、エネルギー資源の枯渇、食料不足などの地球規模の課題をつきつけています。特に昨今は、少子高齢化、地球環境や経済活動の持続可能性などの社会問題の深刻化が進み、我々人類が経験したことのない課題が出現しています。また、情報化とグローバル化の波が、理工学分野の研究者・技術者に求められる役割を大きく変えようとしています。総合理工学府はこうした社会環境の激変に対応するため、大学院組織改革を断行し、現代及びこれからの環境・エネルギー関連問題の解決に資する理工学系の研究・技術人材の育成に取り組みます。

総合理工学府総合理工学専攻は1学府1専攻体制です。修士課程入学者選抜は、Ⅰ類（物質科学：材料、化学）、Ⅱ類（エネルギー科学：電気電子、デバイス、量子理工）、Ⅲ類（環境システム科学：機械、システム、地球環境）の三つの区分で実施します。入学後は、教員のサポートのもと、専門力を高めるとともに情報応用力、異分野展開力を習得します。大学院修了時には、六つの専門領域（材料理工学メジャー、化学・物質理工学メジャー、デバイス理工学メジャー、プラズマ・量子理工学メジャー、機械・システム理工学メジャー、地球環境理工学メジャー）のうちいずれか一つを身につけると共に、異分野の理工学系及び応用情報系の知識や技能を併せ持つ研究人材、高度専門技術人材として現代社会での活躍を目指します。

環境・エネルギー問題の解決には、高度な専門力に加え、多様な基礎学力や情報応用力など複数の学問分野の知識が求められます。また、複雑でグローバルな今日的課題を解決するためには、世界中の同分野・異分野の研究者・技術者と議論できるコミュニケーション能力が必要となります。総合理工学府総合理工学専攻では、そのような能力を備えた現代的なスペシャリストを養成します。

総合理工学府の修士課程入学者選抜について

総合理工学府は、多様な学修キャリアを持った学生が集い、学府担当教員の約半数を研究所に所属する教員が占め、産学連携も盛んであることを背景に、分野別に画一化された縦割りの教育とは一線を画した教育を行ってきました。この伝統を活かしつつ、総合理工学府はプロジェクト型学習（Project-Based Learning）システムを取り込んだ教育を行います。その教育を推進するための仕組みとして、旧来の専攻間の垣根を取り払い、総合理工学専攻1専攻としました。これにより、産業界に、また国際的ないしは学術的に必要とされる分野の様々な変化に対応した教育が可能となります。

総合理工学府の学生には、専門分野の確たるアイデンティティを持つことに加え、情報科学技術を含む他分野に知識を広げることが求められます。そのため、入学者選抜の実施区分として、“物質”、“エネルギー”、“環境”を主キーワードとする三つの類を設定します。

修士課程入学者選抜では、Ⅰ類（物質科学）、Ⅱ類（エネルギー科学）、Ⅲ類（環境システム科学）の三つの区分から一つを選択し、その類で指定された試験科目を受験することになります。

また総合理工学府では、優れた資質を持つ多様な学生を広く受け入れるために、筆答試験による選抜に加えて、口述試験を導入しています。

修士課程推薦入学試験の趣旨

総合理工学府では、高等専門学校に在籍する、特に優秀で高い意欲を有する学生を早期に受け入れるために、高等専門学校学生を対象とした推薦入学試験を行います。

類(入試区分)とメジャー(専門分野区分)

I 類：物質科学

材料工学、材料科学、化学、物質理工学を幹としており、I 類で入学した学生の多くは「材料理工学メジャー」または「化学・物質理工学メジャー」を選択します。前者は“先端的な材料設計及び材料評価の手法を活用して材料開発を行う研究者・高度専門技術者”を、後者は“物質科学を幹として、境界先端領域において活躍する研究者、高度専門技術者”を育成するための教育を提供します。

II 類：エネルギー科学

デバイス工学、電気・電子理工学を幹としており、II 類で入学した学生の多くは「デバイス理工学メジャー」または「プラズマ・量子理工学メジャー」を選択します。前者は“デバイスやシステムに関する科学を駆使して先端領域で活躍する研究者、専門技術者”を、後者は“プラズマや量子科学を駆使してエネルギーから材料までの先端領域で活躍する研究者、専門技術者”を育成するための教育を提供します。

III 類：環境システム科学

機械工学、地球環境科学、システム理工学を幹としており、III 類で入学した学生の多くは「機械・システム理工学メジャー」または「地球環境理工学メジャー」を選択します。前者は“機械・システム理工学に関連する科学技術を駆使してサステナブル社会構築のためにグローバルに活躍する技術者・研究者”を、後者は“最先端環境科学技術を修得して地球環境問題解決のためにグローバルに活躍する技術者・研究者”を育成するための教育を提供します。

※なお、本専攻では教育職員免許状（専修免許状）を取得することはできません。

1. 出願資格

次の(1)～(3)の全てに該当する者

- (1) 高等専門学校での修業年限2年の専攻科に在籍している、2022年3月までに学士の学位を授与される見込みの者
- (2) 学業成績及び人物ともに優れ、在籍している高等専門学校長から推薦された者
- (3) 合格した場合に入学を確約できる者

2. 募集専攻及び募集人員

募 集 専 攻	募集人員	学府・専攻ホームページURL
総 合 理 工 学 専 攻	若干名	http://www.tj.kyushu-u.ac.jp/

(注) 上記の募集人員数は、一般選抜の募集人員数（172名）に含まれます。

3. 願書受付期間

2021年5月24日(月)～2021年6月2日(水) 17時まで

(注) 出願書類を郵送により提出する場合は、書留郵便とし、受付期間内に必着するように発送してください。

なお、締め切り直前は、窓口等が混雑しますので、上記受付期間のできるだけ早いうちに提出してください。

4. 出願に関する問い合わせ先

出願に関する問い合わせは電子メールで受け付けています。各類の問い合わせメールアドレスは以下の通りです。類に関係しない一般的な質問等は、いずれのアドレスに問い合わせても構いません。

	問い合わせアドレス
総合理工学専攻 I類	e-mail : material@eee.kyushu-u.ac.jp
総合理工学専攻 II類	e-mail : energy@eee.kyushu-u.ac.jp
総合理工学専攻 III類	e-mail : env@eee.kyushu-u.ac.jp

5. 出願手続

志願者は、次の必要書類を市販の封筒（角形2号 240mm×332mm）に封入の上、封筒表面左部に「修士課程高専推薦入学願書在中」と朱書きして提出してください。出願に当たっては、「**出願書類提出確認票**」（所定用紙）を必ず添付してください。

1	出願書類提出確認票	必要事項を記入し、出願書類の一番上に添付してください。
2	願書 (様式1)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入してください。 ※両面印刷してください。
3	推薦書 (様式2)	本学府所定の様式に、高等専門学校長が作成し、厳封したもの。 志願者の学業成績の順位及びGPA（最大値を4としたもの。いずれも本科3年次～専攻科1年次までの成績で算出してください。）を推薦書中に記載するか、別添してください。
4	志望理由書 (様式3)	本学府所定の様式に、本学府を志望する理由等を記入してください。
5	希望研究室等調査票 (様式4)	希望の研究室名等を本学府所定の様式に記入してください。希望の研究室名等は第3希望まで全て記入してください。
6	成績証明書	所属高等専門学校が発行したもの。（高等専門学校と専攻科の両方を提出してください。）
7	照合票・受験票 (様式5)	本学府所定の様式に、必要事項を漏れなく記入し、写真を貼ってください。
8	受験票返送用封筒	市販の封筒（長形3号 120mm×235mm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、374円分（速達料金を含む。）の切手を貼ってください。
9	判定結果送付用封筒	市販の封筒（大きさ：長形3号 120mm×235mm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、140円切手を貼ってください。
10	入学検定料支払いに関する書類	入学検定料：30,000円 欄外に記載の「入学検定料の支払い方法について」を参照の上、入学検定料を納付し、次の(a)又は(b)のいずれかの書類を提出すること。 (a) コンビニエンスストアで支払う場合 『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式6） (b) クレジットカードで支払う場合 『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの（A4サイズ）

○入学検定料の支払い方法について

入学検定料は、e-支払いサイト (<https://e-shiharai.net/>) へ事前申込の上、(a) コンビニエンスストア、又は(b)クレジットカードにより支払うこと。（海外からの支払いの場合は、(b)のみ。）支払方法の詳細は、本要項に掲載の「九州大学コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料払込方法」を参照すること。なお、支払いに関する手数料は、志願者が負担することとなる。

【支払い期間】

2021年5月17日（月）～2021年6月2日（水）

【入学検定料支払いに関する提出書類】

(a) コンビニエンスストアで支払う場合

「入学検定料・選考料・取扱明細書」を「『入学検定料・選考料・取扱明細書』貼付用台紙（様式6）」に貼付し、出願書類と共に提出すること。

(b) クレジットカードで支払う場合

「『申込内容照会結果画面』をプリントアウトしたもの」（A4サイズ）を出願書類と共に提出すること。

(注意)

e-支払いサイトにおける手順等に関するご質問については、同サイト上の「FAQ」又は「よくある質問」（<https://e-shiharai.net/Syuno/FAQ.html>）を参照した上で、イーサービスサポートセンターへ問い合わせること。

6. 提出先

〒816-8580 福岡県春日市春日公園6丁目1番地
九州大学筑紫地区事務部 教務課教務係
電話（092）583-7512

7. 選抜方法

- ・ 本高専推薦入学試験を希望する場合には、あらかじめ希望研究室を決定し、希望研究室の教員と事前に面談（web面談も可）を行う必要があります。面談の方法等については、総合理工学専攻事務室（I, II, III類）もしくは教員へ直接問い合わせてください。総合理工学専攻事務室（I, II, III類）の連絡先（メールアドレス）は4の問い合わせ先に記載しています。
- ・ 希望研究室を決める際の参考として、本募集要項7ページに、総合理工学専攻の系と研究室（教育分野）一覧〔別掲1〕を掲載しています。
- ・ 入学者の選抜は、口頭試問の成績及び出願書類の内容を総合して行います。口頭試問では、筆記試験を課さず、専門科目、特別研究、志望動機、入学後の研究計画などについての口頭試問を行います。
- ・ 本年度の高専推薦入学試験では、英語能力認定機関の発行した認定証や英語試験による英語学力の評価は行いませんが、口頭試問等にて英語学力を確認します。

8. 試験期日等及び実施方法

試験は、次の日程で行います。

日付	時間	試験内容	試験場	備考
7月3日（土）～ 7月4日（日）	9～17時	口頭試問	九州大学筑紫地区	試験時間割、試験場等詳細については、受験票送付の際に通知します。

（注）自然災害等の不測の事態により、上記日程での試験実施が困難となった場合は、7月5日（月）～7月6日（火）に試験を実施することがあります。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために必要と判断した場合には、インターネットを利用したオンライン試験への切り替えを行う可能性があります。この場合の試験方法については、本人宛に別途連絡します。

9. 合格者発表

2021年7月8日（木）16時

（注）合格者の発表は、筑紫地区事務部公報掲示板（共通管理棟横）に掲示、及び総合理工学府WEBサイトに掲載します。また、後日郵送により判定結果を本人あてに通知します。

なお、総合理工学府WEBサイトへの掲載は定刻より遅れることがあります。

10. 入学の時期

2022年4月1日

11. 入学手続

(1) 入学手続に必要な提出書類等については、2022年2月下旬に改めて通知します。

(2) 入学手続の際に納付する経費等

入学料：282,000円（予定）

授業料：（前期分）267,900円（年額535,800円）（予定）

（注）上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

12. 一般選抜への出願

本推薦入学試験に合格しなかった者は、一般選抜入学試験（筆答試験）に出願することができます。

※ 2022年度一般選抜入学試験の出願期限は、2021年6月2日（水）ですが、本推薦入学試験に出願した上で一般選抜（筆答試験）にも出願する者は、出願期限を2021年7月15日（木）17時とします。

※ 一般選抜入学試験の入学検定料が別途必要です。

※ 出願にあたっては、一般選抜試験募集要項を良く読んでください。

一般選抜入学試験の出願書類等のうち、次の書類は提出する必要はありません。

5 卒業（見込）証明書、学位授与申請予定証明書

6 成績証明書

13. 注意事項

- (1) 出願に際して、疑問、不明な点があれば、6の提出先へ問い合わせてください。
- (2) 願書受理後は記載事項の変更、検定料の払い戻しなどには一切応じません。
- (3) 受験票未受領者又は紛失した者は、試験開始前までに筑紫地区事務部教務課教務係（共通管理棟）で再発行を受けてください。
- (4) 試験場への交通機関
 - ・ JR九州鹿児島本線大野城駅下車 徒歩約5分
 - ・ 西鉄大牟田線白木原駅下車 徒歩約15分
- (5) 障害等のある入学志願者について
本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があります、そのための相談を随時受け付けています。受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもありますので、出願前できるだけ早い時期に6の提出先へ相談してください。

14. 出願書類における個人情報の保護について

- (1) 出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用します。
 - ア 合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用します。
 - イ 入学者選抜で利用した成績等の個人情報は、個人が特定できないかたちで本学府における入学者選抜に関する調査研究で利用します。
- (2) 出願書類に記載の個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。
- (3) 個人情報の取扱いについては、あらかじめ以下のwebページを確認してください。
<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/disclosure/privacy/>

[別掲 1]

総合理工学専攻の系と研究室(教育分野)一覧

Laboratories and Academic Staff Members

※以下の表では、研究室の研究分野を分かりやすくするために、「系」というカテゴリーを導入しています。
研究室番号は、出願書類作成の際、希望研究室名とともに記入するためのものです。

I 類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category I

系 Section	研究室 (教育分野) 【教員】 Laboratory 【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
電子・化学機能 Electronic and Chemical Properties	機能材料物性学【島ノ江・渡邊(賢)】 Theory of Functional Materials 【Shimanoë · Watanabe】	I-1
	熱・電子機能物性理工学【大瀧・末國】 Chemistry and Physics of Functional Materials 【Ohtaki · Suekuni】	I-2
	機能無機材料工学【永長・北條】 Functional Inorganic Materials Chemistry 【Einaga · Hojo】	I-3
	*構造セラミックス材料学【張】 *Structural Ceramics Materials Engineering 【Jang】	
	無機ナノ構造解析学【稲田】 Design and Analysis of Ceramic Nanostructures 【Inada】	I-5
	新素材開発工学【徐・山田・上原】 Development of Advanced Materials 【Xu · Yamada · Uehara】	I-6
	構造材料物性学【中島・光原】 Structural Materials Science 【Nakashima · Mitsuhara】	I-7
バルク機能 Bulk Properties	結晶物性工学【板倉】 Crystal Physics and Engineering 【Itakura】	I-8
	量子材料物性学【波多】 Electron Microscopy for Materials 【Hata】	I-9
	極限材料工学【橋爪】 Materials Science and Engineering under Extreme Conditions 【Hashizume】	I-10
	材料構造制御学【飯久保】 Materials Structure Design 【Ikubo】	I-11
	プロセス設計工学【寒川】 Process Design Engineering 【Kangawa】	I-12
	高エネルギー極限物性学【渡邊(英)】 Extreme State Science for Nuclear Materials 【Watanabe】	I-13
	プラズマ材料学【徳永】 Plasma Materials Science 【Tokunaga】	I-14
	機能物性評価学【大橋・高田・坂口(勲)・原】 Characterization of Material Structure and Properties 【Ohashi · Takada · Sakaguchi · Hara】	I-15
表面・界面・材料 デバイス Surface, Interface and Device Properties	表面物質学【中川】 Surface Science 【Nakagawa】	I-16
	先端機能材料【藤野】 Advanced Functional Materials 【Fujino】	I-17

	先進ナノマテリアル科学【吾郷】 Advanced Nanomaterials Science【Ago】	I-18
	*KOINEプロジェクト部門【原田(裕)】 *KOINE Project Division【Harada】	
	化学反応工学【林(潤)・工藤】 Chemical Reaction Engineering【Hayashi・Kudo】	I-20
	ナノ材料・デバイス科学【斉藤(光)】 Nanomaterial and Nanodevice Science【Saito】	I-21
	*ナノマテリアル国際ラボ【柳田・村山・Ho・Yip】 *International Laboratory for Nanomaterials【Yanagita・Murayama・Ho・Yip】	
分子物性科学 Molecular and Materials Science	量子化学【青木】 Quantum Chemistry【Aoki】	I-23
	分子計測学【原田(明)・藪下】 Molecular Spectroscopy【Harata・Yabushita】	I-24
	分子科学【古屋】 Molecular Science【Furuya】	I-25
有機合成化学 Synthetic Organic Chemistry	分子・反応設計化学【友岡】 Development of Novel Organic Molecules and Reactions【Tomooka】	I-26
	生命有機化学【新藤・狩野】 Organic Chemistry for Life Science【Shindo・Kano】	I-27
	機能有機化学【國信・森】 Design of Advanced Organic Compounds【Kuninobu・Mori】	I-28
分子材料・プロセス工学 Molecular Materials and Process Engineering	材料電気化学【アルブレヒト】 Materials Science for Electrochemistry【Albrecht】	I-29
	機能分子工学【菊池・奥村】 Molecular Engineering of Functional Materials【Kikuchi・Okumura】	I-30
	高分子材料物性学【横山・高橋(良)】 Advanced Polymer Science and Technology【Yokoyama・Takahashi】	I-31
	高分子機能材料学【Spring】 Macromolecular Materials and Applications【Spring】	I-32
	素子材料科学【尹・宮脇】 Device Materials Science【Yoon・Miyawaki】	I-33
	機能有機材料化学【藤田】 Functional Organic Materials Chemistry【Fujita】	I-34

*今年度は学生を募集しない。

* We do not accept applications this time for the laboratory with an asterisk (*).

II類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category II

系 Section	研究室(教育分野)【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
デバイスシステム Device Systems	電離反応工学【山形・堤井】 Ionized Gas Dynamics【Yamagata・Teii】	II-1
	光エレクトロニクス【浜本】 Opto-Electronics【Hamamoto】	II-2

	電子物性デバイス工学【吉武】 Electronic Physical Device Engineering【Yoshitake】	II-3
	非線形物性学【坂口(英)・森野】 Nonlinear Physics【Sakaguchi・Morino】	II-4
	機能デバイス工学【王】 Functional Device Engineering【Wang】	II-5
	電子システム工学【服部】 Electronic System Engineering【Hattori】	II-6
	パワーデバイス工学【齋藤(涉)】 Power Device Engineering【Saito】	II-7
	電力変換システム工学【西澤】 Energy Electrical Engineering【Nishizawa】	II-8
応用プラズマ・量子 Plasma Application and Quantum Engineering	プラズマ応用理工学【林(信)】 Plasma Science and Engineering【Hayashi】	II-9
	先進宇宙ロケット工学【山本(直)】 Advanced Space Propulsion Engineering【Yamamoto】	II-10
	粒子線物理工学【渡辺(幸)・金】 Nuclear and Radiation Engineering Physics【Watanabe・Kin】	II-11
	エネルギー化学工学【片山】 Energy Chemical Engineering【Katayama】	II-12
	*極限環境機械工学【-】 *Extreme Environment Machine Engineering【-】	
	量子ビーム理工学【榊】 Applied Quantum Beam Engineering【Sakaki】	II-14
	核融合プラズマ物性制御工学【井戸】 Fusion Plasma Physics and Control Engineering【Ido】	II-15
核融合プラズマ Fusion Plasma	核融合システム理工学【花田】 Fusion Plasma Science and Technology【Hanada】	II-16
	先進プラズマ理工学【出射・池添】 Advanced Plasma Science and Engineering【Idei・Ikezo】	II-17
	*プラズマ科学【田中】 *Fusion Science【Tanaka】	
	核融合プラズマ理工学【藤澤・永島】 Plasma and Fusion Physical Science【Fujisawa・Nagashima】	II-19
基礎プラズマ Fundamentals of Plasma	非平衡プラズマ理工学【稲垣】 Non-Equilibrium Plasma Science and Engineering【Inagaki】	II-20
	プラズマ非線形現象理工学【山田】 Nonlinear Plasma Science【Yamada】	II-21
	シミュレーションプラズマ物理学【糟谷】 Plasma Simulation Physics【Kasuya】	II-22
プラズマ理論・シ ミュレーション Theory and Simulation for Plasma	理論プラズマ物理学【小菅】 Theoretical Plasma Physics【Kosuga】	II-23
	原子・分子・光科学【加藤】 Atomic Molecular Optical Science【Kato】	II-24

*今年度は学生を募集しない。

* We do not accept applications this time for the laboratory with an asterisk (*).

Ⅲ類に属する研究室 / Laboratories belonging to Category III

系 Section	研究室（教育分野）【教員】 Laboratory【Academic Staff】	研究室番号 Lab-Number
エネルギー環境学 Energy and Environment	エネルギー流体科学【安養寺】 High-speed Gas Dynamics【Anyoji】	III-1
	エネルギー熱物理学【渡邊（裕）】 Thermal Science and Energy【Watanabe】	III-2
	熱エネルギー変換システム学【宮崎・チョートウ】 Thermal Energy Conservation Systems【Miyazaki・Kyaw Thu】	III-3
	*エネルギー移動現象学【-】 *Heat Transfer Engineering【-】	
	熱機関工学【田島】 Engine and Combustion【Tasima】	III-5
社会空間環境学 Social Space and Environment	都市環境科学【萩島・池谷】 Urban Environmental Sciences【Hagishima・Ikegaya】	III-6
	複雑系社会環境科学【谷本】 Complex Social and Environmental Systems【Tanimoto】	III-7
	建築環境工学【伊藤】 Architectural Environmental Engineering【Ito】	III-8
	環境エネルギーシステム学【ファルザネ】 Energy and Environmental Systems【Farzaneh】	III-9
再生可能エネルギー工学 Renewable Energy Engineering	生体エネルギー工学【東藤】 Bioenergy Engineering【Todo】	III-10
	海洋環境エネルギー工学【胡】 Marine Environment and Energy Engineering【Hu】	III-11
	*風力エネルギー工学【吉田】 *Wind Energy Engineering【Yoshida】	
	風工学【内田】 Wind Engineering【Uchida】	III-13
流体環境学 Fluid Environment	宇宙流体環境学【松清】 Space Environmental Fluid Dynamics【Matsukiyo】	III-14
	環境流体システム学【杉原】 Environmental Hydrodynamics【Sugihara】	III-15
	水環境工学【エルジャマル】 Water and Environmental Engineering【Eljamal】	III-16
大気環境学 Atmospheric Environment	大気物理【岡本・山本(勝)】 Atmospheric Physics【Okamoto・Yamamoto】	III-17
	気候変動科学【竹村】 Climate Change Science【Takemura】	III-18
	大気環境モデリング【弓本】 Atmospheric Environment Modeling【Yumimoto】	III-19
	*非線形力学【-】 *Nonlinear Dynamics【-】	
海洋環境学 Ocean Environment	海洋環境物理【時長・市川】 Descriptive Marine Physics【Tokinaga・Ichikawa】	III-21
	*海洋工学【-】 *Ocean Engineering【-】	

	海洋循環力学【千手・遠藤】 Ocean Circulation Dynamics【Senjyu・Endoh】	III-23
	海洋力学【磯辺・木田】 Ocean Dynamics【Isobe・Kida】	III-24
	海洋モデリング【広瀬】 Ocean Modeling【Hirose】	III-25

*今年度は学生を募集しない。

* We do not accept applications this time for the laboratory with an asterisk (*).